

編集後記

■編集委員

委員長

藤 田 郁 代

副委員長

立 石 雅 子

宇 野 彰

熊 倉 勇 美

倉 内 紀 子

小 林 範 子

城 間 将 江

関 啓 子

玉 井 ふ み

矢 守 麻 奈

言語聴覚研究第2巻第1号をお届けいたします。本号には、原著論文2編、昨年の学会のシンポジウムから、特集「嚥下チームの立ち上げと言語聴覚士の役割」2編、講座「言語聴覚療法に認める『倫理性』と『倫理綱領』の関係」、調査報告「介護保険施設における言語聴覚療法の現状と課題」、また、レポート「現場、最前線」として「補聴器の進歩と言語聴覚士の役割」が掲載されています。これらの論文や報告は、私たちの専門領域の動向を敏感に反映しているように思われます。すなわち、臨床と研究の対象や領域が拡がり、言語聴覚士としての独自性を持ちながら、異なる専門分野の人々とよりよいコミュニケーションを図ることによって、チームの一員としての役割を果たすことが求められているということです。また、専門領域が分化し多様化している現在、同じ言語聴覚士として仕事をしていても、すべての領域に通じることは至難の業です。支援を必要とする方々からの多様な、かつ変化するニーズに応じて、専門的サービスを提供していくために、本誌を情報交換や議論を深める場として活用していただければと存じます。

論文審査の作業も、一種のコミュニケーションではないかと思うことがあります。論文の質を高めるという共通の目的に向かって、暫しのやりとりをすることによって、顔も名前もわからない相手ではありますが、真摯な熱意と誠意を感じることができるからです。臨床活動の中で、客観的・科学的なデータを集積し、学術論文としてまとめていくことは容易なことではありません。しかし、私たち自身のコミュニケーション能力を磨くためにも情報収集のみにとどまらず、専門領域を問わず誰もが理解できるようなわかりやすい表現で情報発信していけるよう日々研鑽を積みたいものです。幅広い分野から、より多くの方々の投稿をお待ちしています。

(玉井ふみ)

言語聴覚研究(第2巻 第1号)2005年3月1日発行

Japanese Journal of Speech, Language, and Hearing Research

編集・発行：日本言語聴覚士協会(会長：藤田郁代)

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 8-5-8 正和ビル 304

(☎03-5338-3855 FAX 03-5338-3856) <http://www.jaslht.gr.jp/>

Published by Japanese Association of Speech-Language-Hearing Therapists (JAS), Showa-Build. #304, 8-5-8 Nishishinjuku Shinjuku-ku, Tokyo, 160-0023, Japan

©2005, Printed in Japan

制作・発売：(株)医学書院(代表：金原 優) <http://www.igaku-shoin.co.jp/>

〒113-8719 東京都文京区本郷 5-24-3(振替口座 00170-9-96693 番)

販売部直通 ☎03-3817-5659・5660(FAX 03-3815-7804)

印刷所 (株)アイワード ☎011-241-9341(FAX 011-207-6178)

広告申込所 (株)医薬広告社 ☎03-3814-1971(FAX 03-3814-8915)